

議会を観ての生の声

3月定例会の傍聴者数のべ34人、ライブ配信再生回数933回 録画配信再生回数136回(4/24時点)

議員の活発な討論に町に対する熱心さを感じた

3月19日、私は初めて「各常任委員会の審査報告についての質疑、討論、評決」を傍聴しました。特に興味があったのは、国民健康保険税の増加の議案でした。委員会の報告では否決された議案に対して、賛成、反対の意見が活発に述べられました。初めて傍聴する私はとても新鮮であり、町の各条例などがこの議会で討論され採決されていく様子を見て、各議員の熱心さに感動していました。賛成意見にも反対意見にも頷いている私がいました。見渡すと女性議員は一人、「住み良い町づくりにもっと女性議員が増えるといいなあ」とも思いました。これからは録画映像なども見て、もっと議会を身近に感じていきたいと思います。



にしおかともこ
西岡 智子さん
(室)



町民が幸せを感じる大津町をつくるために興味を持ちましょう



この度、初めて議会のライブ配信を拝見させて頂きました。画面越しでしたが議会の熱意が伝わってきました。

赤星 彰さん
居島郵便局長

議会の内容です
が、TSMC等半導体企業の進出による激変に対し町としてどのように対応していくか熱心な質疑応答がなされていました。私も全国放送で大津町が取り上げられるワクワクして見ていたのですが反面、深刻な交通渋滞、土地問題、家賃高騰等、私たちの生活に直結する難題が山積である事にも気付かされました。町民が幸せいいる大津町をつくるためにも町の計画等にも興味を持つ事が大切であると実感しました。

郵便局としましては少しでも大津町の発展に貢献できればと改めて感じました。これからも町づくりを楽しみにしております。

この議会だけではなく、再生紙をリサイクルして利用しているためです。

令和6年5月15日 第107号 発行/熊本県菊池郡大津町議会編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップテクノロジーズ

おおごまち議会だより

2024
107号

今月の定例会は
12月 3月
9月 6月

OZU

本会議動画配信 議会だよりが
配信中 読めるアプリ
マチイロ



新部長 紹介



健康福祉部長
おおくま すみよ
大隈 寿美代

健康福祉部では、「笑顔でつなぐ、元気で健やかなまち」の方針のもと、いつまでも健康で、楽しく、安心して暮らせる地域を目指して、福祉や健康に関する支援を行っています。住民の皆さんにとって、分かりやすいサービス提供や支援に努めます。

4月の人事異動で
新しく部長になられたお二人です。



産業振興部長
しらいし ひろのり
白石 浩範

農工商併進のまちづくりを基本に、各産業分野の振興と活性化を図り、町全体の経済の発展を目指しています。また、お祭りやイベントを通して、町民の皆さんと一緒に元気で賑わいのあるまちづくりを推進していきます。

議会活性化特別委員会 意見交換会



議員定数と報酬について 区長会執行部との意見交換

議員の立候補者を増やしたいのか、報酬を増やしたいのか、立候補しようとは思えない。何人必要なのかが根底になると思う」「区長と議会との関係性は強い。議会活性化を望む」「オーバークスの場を議会カフエにしてはどうか」「議会の仕事量はどれくらいなのか。仕事が増えれば報酬も増えるべきだと思う」「選挙が一度無投票だったから定数削減というのは早急すぎるのではないか」「無投票は議員の責任だけではなく、住民の意識の問題」など、意見をいたたきました。いたたきたいともいいます。いざ意見を反映して委員会に反映していきます。

令和6年4月11日に議会活性化特別委員会と区長会執行部との意見交流会を行いました。まず、山本委員長が趣旨を説明し、佐藤副委員長が「大津町議会の議員定数について」を説明しました。

志は高く、ハードルは低く

第2回 選挙にはどのくらい
お金がかかる?

来年初めに予定されている大津町議会議員選挙を前回のように無投票にしないよう、少しでも多くの方に“その気になってもらう”ため掲載する本コラム。

第2回目は誰もが関心をもつと思われる「選挙にはどのくらいお金がかかる?」を取り上げます。(なお、内容は大津町議会議員選挙の規模・事例を想定したものです。)

《もっと詳しく》



ホームページでは
実際の数字で詳しく
説明しています。

[立候補準備費用と選挙費用]

「選挙活動の費用」は、実際に立候補して選挙運動を行う費用です。(図①黄色の部分)

選挙活動のやり方は候補者により様々で、一概には言えませんが、一般に図②のような支出が考えられます。

[使える額には上限がある]

選挙活動の費用には上限があり、大津町の場合、概ね280～290万円です。「えっ、そんなに!」と思われるかもしれません、これはあくまで上限額でこれ以上使ってはいけない額です。

[一部は公費で負担する]

前回選挙からは費用の一部を公費で負担することができるようになりました。

対象となるのは図②で赤文字で示したもので、それぞれに単価・上限が定められています。最大額は約55万円です。

[供託金は15万円]

反対に、供託金が必要となりました。立候補する際に法務局に一時的に預けるお金です。これには、公費負担をあてにした安易な立候補が乱立することを抑制する効果があります。

供託金は一定の得票数があれば戻ってきます。町の有権者数を2万8千人、投票率を仮に60%とするとき、この数は105となります。

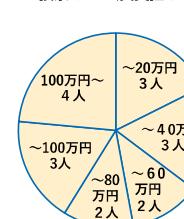
[実際、どのくらいかかる?](概算、千円以下四捨五入)

H29とR3の過去2回の選挙運動収支報告書の報告をもとに、実際にどのくらいの費用がかかっていたかみてみます。

選挙運動の支出額

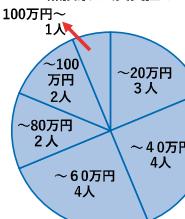
H29年(17人)

投票あり、公費負担なし



R3年(16人)

無投票、公費負担あり



H29年の支出額を見ると、半数以上が80万円以内です。もし公費負担があれば最大額は70万円程度になっていたと思われます。

R3年の支出は選挙期間が1日だったことからさらに低く抑えられています。公費負担を除く、候補者負担は平均で28万円弱になります。

確かに、選挙にはそれなりの費用はかかりますが、費用を節減しても成果は得られることをご理解いただけたでしょうか。

今後、ネット選挙運動が広がればさらに経費の節減も可能になるでしょう。

今後の掲載予定 第3回 立候補の手続きは大変? 第4回 選挙運動ってどうやるの?

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本富二夫	山部 良二	三宮 美香	大塚 秀貢	西川 智弘	時松 元気	田代 元氣	大村裕一郎	賛成 ○	反対 ●
大津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	-	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	10 5	
大津町下水道事業基金条例の一部を改正する条例	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	14 1	
大津町介護保険条例の一部を改正する条例	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 1	
令和6年度大津町一般会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	14 1	
令和6年度大津町介護保険特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	12 3	
令和6年度大津町後期高齢者医療特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	14 1	
令和6年度大津町後期高齢者医療特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14 1	

*議長は議事進行を行なうため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 番は(棄権) 次は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索



議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

本会議動画配信
QRコード

時松 智弘議員	問 介護保険の準備基金の考え方ですべての1号被保険者の負担軽減のため、と説明があったが保険料負担を求める時は高齢者であっても高収入ならば応能負担を求め、低所得者は町独自の考え方で負担を軽減するというのは矛盾がないか。	答 国からの公費負担と所得に応じた保険料でまかなくというところについては国の介護保険の計画に沿ったものだ。今後進展する被保険者の高齢化の中どのように負担を求めるかは課題と捉えている。
豊瀬 和久議員	問 高齢者運転免許証自主返納支援事業の対象者を交通手段の支援をする人としない人には区別をする根拠は。	答 近隣の自治体に合わせた形で5年さかのぼるという制度設計をしている。
山本富二夫議員	問 バス運行費補助についてバスの本数が少ないこと、朝の時間帯にもう少し本数を増やせば利用が増えるのではないか。	答 赤字路線であっても町民の交通手段として維持している。バスが不便なところは乗り合いタクシーを利用性の高いものにして交通手段を確保していく。
田代 元氣議員	問 廃車駐車場の新紙幣対応ユニットは高額紙幣にも対応可能か。また、利便性向上の観点から、キャッシュレスも対応するべきではないか。	答 現在、千円札しか使えない状況である。新年度においても同じような運用を考えているが、今後はキャッシュレス決済なども検討していく。
三宮 美香議員	問 肥後大津駅ビジターセンターのテレビ画像に阿蘇や他地域の映像が流れているが、大津町の観光PRすべきではないか。	答 令和6年度に観光PRビデオ作成予定。合わせてビジターセンターのPRも行いたい。
荒木 俊彦議員	問 大雨が降ると、排水路があふれて、宅地のほうに水が流れ込んでくる実態がある。雨水の安全対策は地方自治体の責任だが対策が全くなされていないのではないか。	答 高尾野の排水路についてはここ数年予算化していないので、今後、現状を把握して予算化し対応が必要な部分があれば対策をしていく。
山部 良一議員	問 インクルーシブ遊具の設置については、いろいろな特性がある子どもたちが3種類の遊具で遊べるのか、もう少し増設する必要があるのではないか。	答 3種類程度の遊具を設置する予定なので、いろんな形で遊べると思っている。また、今後も増やしていく考えている。
佐藤 真二議員	問 「かんしょ安定生産対策事業補助金」で農家を台湾研修に送ることだが、本来の補助金の目的とは全く異なる。	答 補助金交付要綱を見直す。
永田 和彦議員	問 預算の配分の中に、厳しい財政計画を見直していくような配慮がなされているのか。	答 振興総合計画に基づき事業調整して、全体的な財政計画を示していく。

誰もが住みたくなるまちへ

2024年度予算が成立しました



3月定例会議

会期期間19日間
3月1日~3月19日

いくつかを町の皆さんのお声と共にお知らせします

一 予 算 一

護川小学校校区学童保育施設立替え整備費

1億4,412万円



くわはら みちえ
桑原 美智江さん
(放課後児童支援員)



寒くて暑い老朽化した
プレハブ教室をお借りしての保育でしたので、子どもたちも新施設を楽しみにしています。
保護者の方が安心して預けられるよう、子どもの成長の手助けになれるように頑張ります。

高齢者運転免許証 自主返納支援

513万円



なかの せつお
中野 節生さん
(内牧区)

父が80歳を過ぎた頃から車の運転を心配していました。ある日、運転中に恐ろしい体験をした様で自分から「もう運転はしない」と言い、運転をやめました。その後は家族が父母を病院や買い物に乗せて行っています。正直、面倒ですが、他人様へ迷惑をかけるのではなくなりました。

一 条 例 一

手話言語条例



まるやま のりこ
丸山 典子さん
(手話通訳者)

手話言語条例制定に向け尽力頂きました皆様に感謝申し上げます。聴覚障がい者、私たち手話通訳に関わる者としても本当に喜ばしいことです。
今年2月に亡くなられました県ろう者福祉協会の松永理事長の想いを受継ぎ熊本一の手話言語条例を進めて参ります。



ひらやま けんじ
平山 健二さん
(手話講座講師)

手話言語条例制定ありがとうございました。私たち聴覚障がい者にとりまして、大変喜ばしくこの大津町に住んで良かったと思います。
楽しく学べる手話講座も2回目が終了し、沢山の方々が手話を興味を持って頂き感謝します。
これから聴覚障がい者への理解も深まることが期待しています。

総務 委員会 レポート

こくみんけんこう ほけんぜい ぞうぜい 国民健康保険税の増税

	令和5年度	R5標準 保険料率	令和6年度
所得割 (%)			
医療給付費	8.0	8.75	8.5
後期高齢者支援金分	2.5	3.09	3.1
介護納付金分	1.7	2.86	2.6
合計	12.2	14.70	14.2
均等割 (円)			
医療給付費	27,100	30,151	30,200
後期高齢者支援金分	7,000	10,509	10,500
介護納付金分	9,100	18,677	18,700
合計	43,200	59,337	59,400
平半割 (円)			
医療給付費	25,000	20,771	20,800
後期高齢者支援金分	6,500	7,240	7,200
介護納付金分	6,400	0	0
合計	37,900	28,011	28,000

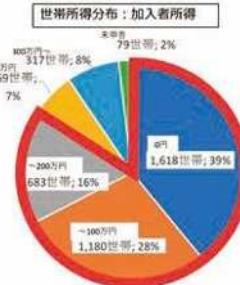
今回改定された税率

A 増税によって負担を町民に求めたくない一方で令和10年中に示されると、増税額である10年間で、影響が大きいのは国民で、影響ではないか。Q 町民に対する説明は今なぜ増税なのか

A 令和12年度に県が税率の統一をするまでに赤字解消の段階的に引き上げていく。税討議を含め、分かりやすく説明を。Q 健康保険税の滞納を段階的に引いていく。税討議を含めた財政改善策を検討し、財政の状況によって、段階的に引いていく。税討議を含めた財政改善策を検討し、財政の状況によって、段階的に引いていく。税討議を含め、分かりやすく説明を。

A 滞納の要因は個別に違うが、世帯人口数が多く税額が高い場合や、修正申告での遅延等で一括で支払えない場合などがある。滞納の原因は個別に違うが、世帯人口数が多く税額が高い場合や、修正申告での遅延等で一括で支払えない場合などがある。Q 国民健康保険税の滞納状況はどうなっているのか

A 現年度が約3千5百万円。滞納者の所得分布は加入得別でいえばどのような人たちか。Q 国民健康保険税の滞納状況はどうなっているのか



2人世帯 夫:73歳 年金所得 50万円 妻:70歳 年金所得 10万円		
	税額/年	現行との差額
現行	57,200円	—
改正案	62,400円	5,200円

4人世帯 夫:45歳 基本所得 300万円 妻:40歳 基本所得 50万円 子:10歳 子:5歳		
	税額/年	現行との差額
現行	497,400円	—
改正案	542,600円	45,200円

世帯所得別の比較表(例)

ちょうみん りかい え ていねい せつめい 町民の理解を得られる丁寧な説明を

A 入札結果公表について以前は『広報おおづ』に毎月掲載されていたが、現在は二次元バーコードでホームページに誘導している。適正な公表のやり方なのか。

A 入札結果を『広報おおづ』だけで公表する場合、発行まで一ヶ月遅れて公表していることになる。入札結果は遅滞なく公表することが必要で、ホームページでの公表は入札当日に結果が確認でき、内容も充実しているため、適正な公表と考えている。



公共事業の入札結果の公表方法について

A 地下水かん養のために町が出来る取り組みは県から補助が行われている家庭用雨水浸透ます設置の補助金について他市町では補助の上積みを行っている。増額の検討や広報活動を行う考えはないか。

A 熊本地下水財団には増額要望を提案したが難しいため広報に力を入れたい。具体的には開発事前協議の際に広報・周知を行い、前年度には申請が無かつたが令和5年度は件数が伸びており、今後もしっかり取り組む。

A Q 地下水かん養のために町が出来ることの仕組み(くまもと地下水財団 HPより)



デジタル社会の中でもアナログ検査の強化を

A デジタル社会構築は重要なことはいいえ、現場に赴き確認する事は必要。補助金の不正受給や環境影響調査の不備などを防ぐために実地での確認は必要だが対策は。

A Q アナログの必要性を考えながら、不正の温床となるような無秩序なデジタル化とならない様にガイドラインを作り込んでいきたい。

増税が子育て世代に重すぎないか

A 令和12年度の県内保険税の現状として物価高騰などによる負担が生じているため、税負担額を増やすこと自体が想像できない。所得300万以上の世帯の負担感があまりに大きいと感覚する。財政状況は落ち看くのか。

A 令和12年度の県内保険税の現状として物価高騰などによる負担が生じているため、税負担額を増やすこと自体が想像できない。県にも要望を行う。

経済建設 委員会 レポート



肥後大津駅周辺

のう こう しょう へい しん 農工商併進の



商店街との連携について

A町内4つの商店街と会議をし、商店街が暗いので明るくしたい、休憩のためのベンチの設置や道路の整備、竹灯りイベントなどの話があつた。肥後大津駅周辺整備とも情報を共有していく。



企業ガイダンス

A 企業連絡協議会で、企業紹介や地元で働くメリットなどの紹介を行った企業がイダンスや県内の高校などの就職担当者に、内企業における採用の取組状況は分かるか。

Q 人材確保のため、企業も生き残りをかけて頑張っていると聞いているが、町内企業における採用の取組状況は分かるか。



丁惺目学

も20社参加し、約120名の

人材を育てるため、学校や企業などに補助金を出す仕組みを考えてもよいのではないか。産官学連携で取り組んでいくことが必要ではないか。



学校との情報交換会

農地の減少について

Q 多面的機能支払交付金事業において対象農地が減少しているが原因は何か。また、どの程度の面積が減っているのか。



町有才

町有林について

Q 町有林施業委託の内容について基本財産林保護委員からの意見がきちんと反映されているのか。



議会の流れ

文教厚生 委員会 レポート

ちょうみん あんしん 町民が安心できる



虐待の予防、早期発見を



虐待予防の研修

A 町内でも1施設で2人の外国人が雇用されている。虐待防止について、県の研修について情報提供をおこなっている。また、事業所の運営指導の際に確認、指導をしている。

Q 介護人材が不足する中、外国人の雇用も増えているが、町内の状況はどうなっているのか。



新園舎建設予定地

必要な方への配慮を

Q 手話通訳者設置の周知方法や、月2回の設置で充分なのか。また、議会中継でも手話通訳の導入も考えているのか。

A 広報おおづの「まちのかレンダーラ」に掲載し周知している。回数についても現場の声を聞き、対応していく。議会中継についても関係部局と協議を重ね検討していく。

施策の推進を



スマートロック設備について

Q 緊急時と平常時でどのような運用になるのか。また、休日部活動の地域移行に向けて、校舎への設置はどう考えているのか。

A 緊急時は防災交通課及び学校、教育委員会でロック可能な番号を共有し対応する。また、校舎への設置についても、体育館の利用状況を見ながら検討していく。

陣内公民館のスマートロック

国民健康保険税について

Q 近隣と比較し国保税率が低かったために引き上げたのは、どうなのか。

A 財政上の赤字が大きくなつたため、税率等の引き上げとなつた。今回の改定では高所得の方は引き上げが大きいが、低所得者に配慮した引き上げで年間1千円の引き上げとなりおり、低所得者については近隣との大きな差はない。

Q 高所得者は何万円も引き上げても良いと思うが、低所得者は1千円でも厳しいと聞いている。

A き上げても良いと思うが、低所得者については1千円でも厳しいと聞いており、低所得者については近隣との大きな差はない。

国民健康保険税額

1人当平均保険税額	改正前	改正後	差額	人員
医療給付費分	70,469 円	74,319 円	-	5,779 人
後期高齢者支援金分	20,755 円	26,326 円	+	
合計	91,224 円	100,645 円	9,421 円	
介護納付金分	20,650 円	29,452 円	8,802 円	1,816 人

●介護分は、40歳～64歳までの人員

大津幼稚園民営化について

Q 新園舎建設について、園舎を通じ全体が見える方が安心だと考えるが、構造上仕方ないのか。また、給食費の負担増について保護者負担について意見はないのか。

A 移譲先法人からは敷地の活用や駐車場の確保など専門家と検討し進めている。安全対策についても、しっかりと認識していく。

また、給食については保護者負担は増える。説明会やアンケートをおこなつているが、現在のところ保護者からの意見は出でていない。

Q 国保運営協議会の会長を議會議員が務めるのはどうなのか。答申後に条例や予算を審議することになり、対応が難しくならないか。

A 県内の自治体で会長に議会議員が選出されるケースはあると確認しているが、次の改選の際は、他の自治体の動向も確認し検討したい。



町長に答申する協議会会長

国民健康保険税について

Q 近隣と比較し国保税率が低かったために引き上げたのは、どうなのか。

A 財政上の赤字が大きくなつたため、税率等の引き上げとなつた。今回の改定では高所得の方は引き上げが大きいが、低所得者に配慮した引き上げで年間1千円の引き上げとなつた。低所得者については近隣との大きな差はない。

一般質問

町政を問う 3月定例会

一般質問に16人中11人が登壇



Q 災害時支援用バンダナを作成すべき

A 支援に役立つツールの活用を進めていく



よせ
豊瀬
かずひさ
和久議員



Q 障がいがある方に対し災害時でも必要な情報を使やかに届けられるよう、災害時支援用バンダナを作成するべきだ。

A 災害時支援用バンダナは、情報取得のサポートや円滑なコミュニケーションにつなげるための普段からカバンなどに入れて置くことで避難所や運営に携わった方などに意見を伺い、災害時や、急に具合が悪くなつて周囲に助けを求めたい時などに迅速な支援につなげることができる。

(町長)

Q 美咲野地区で導入されているゾーン30対策だけでは、生活道路への通り抜けが増加をして大変危険だと駆削交番連絡協議会で地域住民から声が上がっている。

A 昨今の人口流入や近隣開発が盛んな中、生活道路を抜け道として通行する車両が増加していることに伴い、道路を利用する児童生徒の危険も増えていると感じている。

Q 土地交通省「ゾーン30プラス」を導入する物理的デバイスで安心安全な道を

A 地域の話し合いにより農地利用を明確化する

Q 生活道路対策「ゾーン30プラス」導入を

A 合意形成を図り整備計画を策定していく



ときまつ
ともひろ
時松 智弘議員



Q 蒲島県知事は3月12日に空港アクセス鉄道について、農地減少は避けねばならないと路線の検討などを求め意見を提出された。一方で、町は護川地区的優良農地に工業団地の造成を計画しており、畜産農家やからいも農家から農地が工場用地に転用されれば、農業ができないと言われている。

現に瀬田地区など町の農家は、地下水保全のために、地下水湧水事業に取り組んでいる。TSMCは国策事業であるため、国や県は責任を持って、代替地の確保を目指すこと。地域住民の意見をしっかりと伝え

やまと
ふじお
山本 富二夫議員



Q 蒲島県知事は3月12日に空港アクセス鉄道について、農地減少は避けねばならないと路線の検討などを求め意見を提出された。一方で、町は護川地区的優良農地に工業団地の造成を計画しており、畜産農家やからいも農家から農地が工場用地に転用されれば、農業ができないと言われている。

現に瀬田地区など町の農家は、地下水保全のために、地下水湧水事業に取り組んでいる。TSMCは国策事業であるため、国や県は責任を持って、代替地の確保を目指すこと。地域住民の意見をしっかりと伝え

その他の質問

- ・ごみの減量化・資源化、収集の効率化について
- ・行政手続きのデジタル化とDX推進状況について
- ・通いの場を充実させる取り組みについて
- ・都市計画マスターplanの見直しと空港アクセス鉄道の沿線に駅を設置する考え方について

その他の質問

- ・学校給食の充実の為、給食単価を見直し、町財源で補助が出来ないか
- ・地方自治法260条に定める認可地縁団体と行政区嘱託員制度の整合性について

その他の質問

- ・東海大学熊本臨空キャンパスとの取り組みをすべきだ。
- ・選挙公約 新しい大津をつくる101の具体策の達成度について



議員研修誌「地方議會人」に掲載されました。

全国の地方議會議員向けに情報を掲載されている議員専門研修誌「地方議會人」2月号に広報編集特別委員会の取り組みが載りました。

「議會だより」に対する尚絅大学との連携協定から始まり、大学生・高校生・有志団体との意見交換とその内容が「連携の模範議會」ではないかとの評価をいただきました。約3ページに渡り取組を掲載しています。書店では販売されません。議會図書館にありますので興味関心のある人は議會事務局へお問い合わせください。

今後も「議會だより」に対する意見交換会を継続し、たくさんの人とつながり、興味関心を持つてもらえる議會だよりを目指します。

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

次回定例会は

6月5日(水)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 6月5日(水)~13日(木)(予定)
会場 庁舎 4階 議場

議會広報編集特別委員会

編集:(委員長)三宮美香/(副委員長)豊瀬和久
(委員)時松智弘/田代元氣/大村裕一郎
発行責任者:(議長)桐原則雄

編集記

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイディア」があればお寄せください。

▼能登の震災から始まった令和6年、災害派遣の自衛隊や日本各地からの支援が報道された。町議会からも寄付させて頂いている。▼熊本地震の経験から復興を思う時つらく苦しい時でも人間は困難に立ち向かい乗り越える力を持つと確信する。人はそれを「希望」と呼ぶ。▼半導体産業進出の菊池都市、高景気に沸き、喜ぶ人もあれば物価高騰や家賃上昇に苦しむ人も。▼暮らしに寄り添い地に足をつけた議論の質を問われる議會と行政の姿。令和6年の「希望」を本紙が示せるかもまた問われている。

時松智弘

施政方針について 勤労の義務と教育基本法について

ながた かずひこ
永田 和彦議員



論点

- 時代が大きく変化する中、単年度の施政方針の中にも未来を描いた大局的視点のグランドデザインを示すべきである。
- 町にイノベーションを起こすが如く首長になられたが何も変わらない。町民が期待し、求めたモノが何であつたか理解できているか。
- 多くの人は教育を受け労働して人生を送る。人手不足の要因の中で高齢化や人口減少のみならず職務適応能力「求めるスペックの人材が労働市場にいない・極端に少ない」が挙げられる。教育長が持つべき理念は教育基本法である。

* 録画配信をご覧ください！



日本国憲法及び教育基本法の理解は必須

熊本県町村議會議長表彰

「町村議會議員に30年以上在籍し特に功労のあった者」として、荒木俊彦議員と津田桂伸議員が表彰を受けました。



荒木俊彦 議員



津田桂伸 議員